

平成二十五年 度

中 学 校 入 学 試 験 問 題

国 語 (第 一 回 午 前)

〔 受 験 上 の 注 意 〕

- 一、 受 験 番 号 、 氏 名 は 必 ず 記 入 し て 記 入 さ せ ぐ さい。
- 二、 解 答 紙 は 使 用 せ ず 、 解 答 紙 に 記 入 し て 記 入 さ せ ぐ さい。
- 三、 解 答 紙 は 使 用 せ ず 、 解 答 紙 に 記 入 し て 記 入 さ せ ぐ さい。
- 四、 問 題 用 紙 は 使 用 せ ず 、 解 答 紙 に 記 入 し て 記 入 さ せ ぐ さい。

一 次の問一～問三の問いに答えなさい。

問一 次の1～8の——線部のカタカナを、漢字または漢字と送りがないに直しなさい。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 農機具をナヤにしまう。 | 2 フクツウで学校を早退した。 |
| 3 答案をユウソウする。 | 4 ジッサイにはやらなかった。 |
| 5 私にはキョウダイがいます。 | 6 シンカンセンには乗ったことがない。 |
| 7 的をイタ発言。 | 8 目的にカナウ。 |

問二 次の1～4の——線部の漢字の読みを、ひらがなで答えなさい。

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1 先ず席に着いてください。 | 2 彼は運動に対して優れた能力を持っている。 |
| 3 彼女は興奮している。 | 4 日本の憲法は平和憲法だ。 |

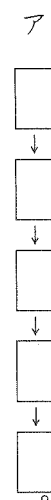
問三 次の1～4から、使い方の誤った漢字をそれぞれ一字ずつぬき出し、正しい漢字を答えなさい。

- | |
|---|
| 1 登上人物は、昼食が済むと裏山へ出掛けた。 |
| 2 彼の自動車の運転は、必要似上に接近して威圧感を与えることがない。 |
| 3 私は祖母にひどい言葉を言ってしまったことを非常に後悔したが後の祭りだった。 |
| 4 昔の人は先組から語り伝えられてきた知恵や知識を頼りに生活していた。 |

二 次の問一～問三の問いに答えなさい。

問一 次の1～5の文の組み立て(文節の係り受け)を表した図として、最も適切なものを、下のア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。なお「/」は文節の切れ目を表します。

1 彼は/私が/絶対に/寝坊すると/思った。



2 きれいな/空に/真っ赤な/太陽が/輝いている。



3 かわいい/子猫の/描かれた/絵が/飾られている。



4 そうだ/今年は/秋の/京都へ/行こう。



5 僕は/大変に/太った/犬に/追いかけられた。



問二 次の1～4の意味になるように、後の ☐ の中から漢字を二字ずつ選び、熟語を作りなさい。

1 品物の形、大きさ、質などについての決まり。

2 決まったことを実際に行うこと。

3 しみじみと感ぜられるかなしさやあわれなこと。

4 もうけを得るために事業などにお金を出すこと。

式 投 格 形 悲 規 行 哀 施 資

問三 次の1～4は四字熟語の前半二字です。後半二字を、後のア～クからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。また、意味としてふさわしいものを、後の①～⑧からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1 不易 | 2 五里 | 3 天衣 | 4 無我 |
|------|------|------|------|

- | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ア 無人 | イ 夢中 | ウ 弱行 | エ 霧中 | オ 百中 | カ 流行 | キ 無縫 | ク 無実 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ① 困難に打ちかとうとがんばること。 | ② 二つの物の間が非常に近いこと。 |
| ③ 我を忘れて熱中すること。 | ④ 不変のものと変化するものがある。 |
| ⑤ 物事にこだわらず自由にふるまうこと。 | ⑥ 勢いが衰えて心細いようす。 |
| ⑦ 濃い霧の中で方向がわからないこと。 | ⑧ 事が多くて真実をつかみにくいこと。 |

三 次の文を読んで、後の問一～問十の問いに答えなさい。

① 「桜」といえば、どんな花を思いうかべるだろうか。白にごく薄く紅をまぜた五弁の花びらが、枝いっぱい咲く。満開の樹がずらっと並んで視界を X。そんな花、花、花の光景を頭にうかべる人が多いと思う。

A 一口に「桜」といっても、たくさん種類がある。自生種(野生で生えていた桜)ではヤマザクラ、オオヤマザクラ、オオシマザクラ、カスミザクラ、エドヒガン、マメザクラ、タカネザクラ、カンヒザクラなど。最初の四つはヤマザクラ群、カンヒザクラはカンヒザクラ群にさらに大きく分けられている。これらの間に自然に出来た雑種も多い。

「そんなにあるのか」という気がしてくるが、この上さらに「里桜」とよばれる園芸品種(人が育ててきた桜)が三百以上ある。こちらの歴史もけっこう古い。普賢堂(ふげんどう)あるいは普賢象(ふげんぞう)という桜の名前は、室町時代までさかのぼる。江戸時代後半には特に八重桜が好まれ、百をこえる品種が新たに開発された。八重桜は花びらの数が十枚をこす花をつけるもので、一葉、
関山(かんざん)などは今もときどき見かける。【ア】

B 多種多様な桜があるなかで、現在私たちが目にする桜のほとんどはソメイヨシノ(染井吉野)という、たった一つの品種で占められている。「桜」で多くの人がぱっと思いうかべるのも、そのソメイヨシノだろう。

正確な数字は調べようがないが、日本の桜の九〇%はソメイヨシノだという説さえある。これはさすがに大げさなようだが、少なくとも七〇八割はソメイヨシノらしい。平塚晶人『サクラを救え』は、いくつかの統計を検討した上で、関西以外の都市部で九割、関西の都市部で八割、都市部以外では七割ぐらいではないかと述べている。検証のしようはないが、感覚的には納得できる数字だ。【イ】

一八歳で東京へ出るまで、私は広島県の広島市に住んでいた。C、私にとっても、桜といえば圧倒的にソメイヨシノだった。大学生のころ、四月も半ばすぎになって、桜そっくりの花を見つけたことがある。なんだろうと思って近づいてみると、根元に「八重桜」と札がそえてあった。③赤面ものの実話である。

④ そんなまぬけをやってしまったのも、一つには、ソメイヨシノの咲き方がなんとも印象的であるからだ。東京でいえば三月末から四月初めに、花だけが枝いっぱい開き、D散っていく。公園や神社だけでなく、都市河川の岸や暗渠(あんきょ)の上にもソメイヨシノの桜並木はたくさんある。電車から外を見ていると、あちこちで淡い桃色の花のラインがずつついていくのを目にする。【ウ】

東京にはそんな場所がいくつもあるが、私が特に好きなのは目黒川だ。中目黒という駅の近くから目黒橋まで、一キロにわたって桜並木がつづく。川といっても幅は十メートルぐらい。兩岸の枝はふれあい、落ちた花弁が川面を塊(かたまり)になって流れていく。岸辺からの眺めもいいが、川の上、鉄橋を渡る電車からの眺めはもっといい。樹冠(じゅかん)が並んで見えて、花色がいっそうひきたつ。【エ】

⑤ よく似た景色は明治の頃からあったらしい。だから、もっと都心に近い神田川でも、飯田橋から江戸川橋までソメイヨシノが兩岸に植えられていた。島崎藤村の『若菜集』にもでてくる。当時の川幅(かわはば)はやはり十メートルほどで、今の目黒川にはおりられないが、昔の神田川では小舟を出して花見ができた。【オ】

桜並木は同じ彩りですっと向こうまでつづく。樹に近づけば、その感じはもっと鮮烈(せんれつ)になる。どの樹も本当に同じ花色をしている。遠くからぼんやり同じように見えるだけではなく、近くで見てもはつきり同じなのだ。

桜とはそういうものだ、と私はずっと思っていた。とんでもない誤解(ごかい)である。桜だからではなく、ソメイヨシノだからそうなのだ。

(佐藤俊樹「桜が創った『日本』より」)

※ 普賢堂・普賢象・一葉・関山：桜の品種の名前

※ 暗渠：おおいをした水路。

※ 樹冠：樹木が密集している場所において、枝や葉の茂っている部分。

※ 鮮烈：強烈ではっきりしているさま。

問一 ☐ A ☐ D にあてはまる語句として最も適切なものを、次のア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。
ただし、同じ記号を二回以上使ってはいけません。

ア やがて イ しかし ウ これほど エ だから オ 実は

問二 ☐ X にあてはまる語句を、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア うめつくす イ さえぎる ウ ひらけさせる エ せばめる オ ひらく

問三 次の一文は本文からぬき出したものです。もとの場所としてふさわしいものを、本文中の「ア」～「オ」から一つ選び、記号で答えなさい。

なんともうらやましい話である。

問四 線部①「『桜』といえば、どんな花を思いうかべるだろうか。」について、筆者はどんな品種を思いつかべていますか、本文中から六字で抜きだして答えなさい。

問五 線部②「多種多様な桜」について、何が多種多様なか本文中から漢字二字で抜きだして答えなさい。

問六 線部③「赤面」とは何がどうなることですか、次の中から選び記号で答えなさい。

ア 桜が赤く染まっていたこと。
イ 札が赤く染まっていたこと。
ウ 顔が赤く染まっていたこと。
エ 桜そっくりの花が赤く染まっていたこと。
オ ソメイヨシノが赤く染まっていたこと。

問七 線部④「そんなまぬけ」とはどういうことですか、本文の言葉を使って三十五字以内で説明しなさい。

問八 線部⑤「よく似た景色」とはどういう景色ですか、本文の言葉を使って四十五字以内で説明しなさい。

問九 線部⑥「誤解」について、何をどのように誤解していたかを、本文中の言葉を使って二十五字前後で説明しなさい。

問十 次の文は、本文を要約したものです。ア～クの「」内にあてはまる語句を、それぞれ指定された文字数で、本文中からぬき出して答えなさい。

日本人が思い浮かべる「桜」は白にごく紅を混ぜた「^ア 6字」が枝いっぱい咲く。満開の樹がずらっと並ぶ。そういう光景である。桜にはいろいろな種類があるが、自生種の他に「^イ 4字」が三百以上ある。だが「^ウ 4字」な品種の中で現在の日本では七割から九割が「^エ 6字」と呼ばれるたった一種の品種で占められている。以前桜にそっくりな花を見つけて近づいてよく見ると「^オ 3字」と札がそえてあった。それ程桜といえば「^エ 6字」という印象がある。「^エ 6字」の特徴はその「^カ 3字」である。花だけが葉より先に枝いっぱい咲く。公園、神社、「^キ 6字」、暗渠の上にも植えられ遠くから見るとラインのように見える。桜の彩りはどこまで行っても同じである。どの樹も本当に「^ク 4字」である。桜とはそんなものだと思っていたが、そうではなく「^エ 6字」だからそうなのだ。

受験番号	番氏名	小計

(二枚目に続く)

	問三	問二	問一	二
3	1	1	1	
後半	後半			
意味	意味	2	2	
4	2	3	4	
後半	後半			
意味	意味	4	5	

問三	問二	問一	一
1	3	5	1
誤			
↓			
正			
2		6	2
誤			
↓			
正			
3	2	7	3
誤			
↓			
正			
4		8	4
誤			
↓			
正			

